

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年5月13日
【四半期会計期間】	第28期第2四半期（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）
【会社名】	株式会社ユーラシア旅行社
【英訳名】	EURASIA TRAVEL Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 井上 利男
【本店の所在の場所】	東京都千代田区平河町二丁目7番4号
【電話番号】	03 - 3265 - 1691（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 出口 桂太郎
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区平河町二丁目7番4号
【電話番号】	03 - 3265 - 1691（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 出口 桂太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第2四半期連結 累計期間	第28期 第2四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成24年 3月31日	自平成24年 10月1日 至平成25年 3月31日	自平成23年 10月1日 至平成24年 9月30日
営業収益(千円)	2,736,109	2,850,311	6,399,119
経常利益又は経常損失( )(千円)	79,798	21,443	328,493
四半期(当期)純利益又は四半期(当期) 純損失( )(千円)	35,256	15,399	179,165
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	90,905	2,692	200,792
純資産額(千円)	2,429,719	2,468,499	2,502,706
総資産額(千円)	3,756,730	3,643,487	3,951,943
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額( )(円)	955.46	417.33	4,855.43
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.7	67.8	63.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	18,073	235,265	231,397
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	53,682	96,311	25,009
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	36,820	36,845	73,661
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	2,371,021	2,207,480	2,575,854

回次	第27期 第2四半期連結 会計期間	第28期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純 損失金額( )(円)	1,172.18	511.09

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 営業収益には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、重要な変更又は新たに発生した事項はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による経済政策、金融緩和政策への期待を背景とする回復基調が見られる一方で、实体经济における力強さに欠け、世界経済の景気下振れ懸念など、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

円安株高の進行が見られる中で、当第2四半期連結累計期間においては、円安の急激な進行が継続的に見られ、仕入原価の増加を通じて業績に影響を与えております。

当社グループにおきましては、価格転嫁を行わずに、集客の増加を通じての営業収益の確保に努めております。中国方面ツアーの減少や、中東情勢の不安感による同方面ツアーの減少の影響を受けつつ集客に努めましたが、前年同期比では粗利益の減少の結果となっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は28億50百万円（前年同期比104.2%）、営業損失は21百万円（前年同期比 - %）、経常損失は21百万円（前年同期比 - %）、四半期純損失は15百万円（前年同期比 - %）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が21百万円発生し、営業未収入金の減少38百万円、旅行前受金の減少170百万円、法人税等の支払による支出125百万円、投資有価証券の取得による支出200百万円、投資有価証券の払戻による収入100百万円等の要因により、当第2四半期連結会計期間末には2,207百万円（前年同期比93.1%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、235百万円（前年同期比 - %）となりました。

これは、税金等調整前四半期純損失21百万円の発生と、営業未収入金の減少38百万円、旅行前受金の減少170百万円、法人税等の支払による支出125百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、96百万円（前年同期比179.4%）となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出200百万円、投資有価証券の払戻による収入100百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、36百万円（前年同期比100.1%）となりました。

これは配当金の支払によるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	147,600
計	147,600

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年5月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	36,900	36,900	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	36,900	36,900	-	-

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株制度は採用しておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日	-	36,900	-	312,000	-	175,600

(6)【大株主の状況】

平成25年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
井上 利男	東京都港区	19,491	52.8
(有)ホワイトサクセス	東京都港区白金2-7-41-402	4,140	11.2
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505224	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSET TS 02101 U.S.A.	923	2.5
(常任代理人株式会社みずほコーポ レート銀行決済営業部)	(東京都中央区月島4-16-13)		
佐伯 剛	東京都品川区	900	2.4
重田 康光	東京都港区	543	1.5
エイアイユーインシュアランスカ ンパニー	東京都千代田区丸の内1-1-3 (東京都品川区東品川2-3-14)	450	1.2
(常任代理人シティバンク銀行株式 会社)			
(株)広美	東京都中央区築地3-9-9	360	1.0
井上 勝仁	神奈川県川崎市中原区	360	1.0
出口 桂太郎	東京都新宿区	300	0.8
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社	東京都中央区晴海1-8-11	272	0.7
計	-	27,739	75.2

(注)上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、信託業務に係るものであります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 36,900	36,900	-
端株	-	-	-
発行済株式総数	36,900	-	-
総株主の議決権	-	36,900	-

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,472,806	2,104,330
営業未収入金	45,150	6,966
有価証券	303,047	303,150
原材料及び貯蔵品	2,554	4,215
その他	197,541	213,298
貸倒引当金	50	10
流動資産合計	3,021,050	2,631,952
固定資産		
有形固定資産	5,802	4,268
無形固定資産	7,893	6,934
投資その他の資産		
投資有価証券	405,333	497,168
その他	511,863	503,162
投資その他の資産合計	917,197	1,000,331
固定資産合計	930,893	1,011,534
資産合計	3,951,943	3,643,487
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	163,447	184,747
未払法人税等	129,530	3,445
旅行前受金	983,859	813,694
賞与引当金	32,200	30,800
返品調整引当金	200	200
その他	60,128	59,234
流動負債合計	1,369,365	1,092,122
固定負債		
退職給付引当金	79,872	82,865
固定負債合計	79,872	82,865
負債合計	1,449,237	1,174,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	312,000	312,000
資本剰余金	175,600	175,600
利益剰余金	2,032,651	1,980,351
株主資本合計	2,520,251	2,467,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,484	7,506
繰延ヘッジ損益	1,939	8,054
その他の包括利益累計額合計	17,545	547
純資産合計	2,502,706	2,468,499
負債純資産合計	3,951,943	3,643,487

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】  
【 四半期連結損益計算書 】  
【 第 2 四半期連結累計期間 】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
営業収益	2,736,109	2,850,311
営業費用	2,142,479	2,353,646
営業総利益	593,629	496,665
販売費及び一般管理費	1 530,074	1 517,914
営業利益又は営業損失 ( )	63,555	21,248
営業外収益		
受取利息	1,978	1,075
受取配当金	176	84
有価証券売却益	16,590	14,653
その他	1,528	783
営業外収益合計	20,273	16,596
営業外費用		
為替差損	4,030	16,791
営業外費用合計	4,030	16,791
経常利益又は経常損失 ( )	79,798	21,443
特別損失		
固定資産除却損	148	36
投資有価証券評価減	11,902	-
特別損失合計	12,050	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	67,748	21,480
法人税、住民税及び事業税	29,581	1,049
法人税等調整額	2,910	7,130
法人税等合計	32,492	6,081
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ( )	35,256	15,399
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	35,256	15,399

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	35,256	15,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,049	11,977
繰延ヘッジ損益	43,599	6,114
その他の包括利益合計	55,648	18,092
四半期包括利益	90,905	2,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,905	2,692
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	67,748	21,480
減価償却費	3,274	3,375
賞与引当金の増減額( は減少)	200	1,400
返品調整引当金の増減額( は減少)	300	-
退職給付引当金の増減額( は減少)	3,712	2,993
受取利息及び受取配当金	2,155	1,159
為替差損益( は益)	317	49
有価証券売却損益( は益)	16,590	14,653
投資有価証券評価減	11,902	-
固定資産除却損	148	36
営業未収入金の増減額( は増加)	5,007	38,183
たな卸資産の増減額( は増加)	2,150	1,660
旅行前払金の増減額( は増加)	67,672	35,610
未収消費税等の増減額( は増加)	5,017	1,290
その他の資産の増減額( は増加)	3,995	1,415
営業未払金の増減額( は減少)	92,631	21,300
旅行前受金の増減額( は減少)	1,079	170,165
その他の負債の増減額( は減少)	5,175	2,488
小計	42,544	111,433
利息及び配当金の受取額	1,810	1,800
法人税等の支払額	26,281	125,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,073	235,265
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	100,000	100,000
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	1,010	-
無形固定資産の取得による支出	858	912
投資有価証券の取得による支出	-	200,000
投資有価証券の売却による収入	50,018	7,658
投資有価証券の払戻による収入	825	100,741
敷金及び保証金の回収による収入	2,517	-
保険積立金の積立による支出	5,175	3,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,682	96,311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	36,820	36,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,820	36,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	317	49
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	72,113	368,373
現金及び現金同等物の期首残高	2,443,134	2,575,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,371,021	2,207,480

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
給与手当	249,298千円	225,779千円
賞与引当金繰入額	27,547	26,450
退職給付費用	4,016	3,893

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
現金及び預金勘定	2,268,084千円	2,104,330千円
預入期間が3か月を超える定期預金	200,000	200,000
有価証券勘定	302,937	303,150
現金及び現金同等物	2,371,021	2,207,480

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年12月22日 定時株主総会	普通株式	36,900	利益剰余金	1,000	平成23年9月30日	平成23年12月26日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年5月2日 取締役会	普通株式	36,900	利益剰余金	1,000	平成24年3月31日	平成24年6月8日

当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	36,900	利益剰余金	1,000	平成24年9月30日	平成24年12月25日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成25年5月1日 取締役会	普通株式	36,900	利益剰余金	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月7日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、海外旅行及びこれに関連する旅行傷害保険等のサービスを行う旅行業を営んでおり、単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	955円46銭	417円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	35,256	15,399
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	35,256	15,399
普通株式の期中平均株式数(株)	36,900	36,900

(注)当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....36,900千円

(ロ) 1株当たりの金額.....1,000円

(注)平成25年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月10日

株式会社ユーラシア旅行社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

代表社員 公認会計士 小林 昌敏 印  
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 熊谷 康司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユーラシア旅行社の平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユーラシア旅行社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。